



◆◆◆ 国際通貨研究所メールマガジン（第 51 号 2016/6/14 発行）



<http://www.iima.or.jp/>



＼1. 理事長 行天豊雄 コラム／

景気より経済

<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2016/20160614gyoten.pdf>

昨今の日本経済を見ていて感ずるのは、何処か焦点が定まっていないということだろう。政府も、企業も、個人も、一体自分はどちらへ向いて進んでいるのか、また進んで…

＼2. 眞野輝彦 コラム／

資産保有のリスク

<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2016/20160614mano.pdf>

最近の大手商社の決算状況を見ると、ほとんどが赤字を計上している。最大の原因は原油安などによる保有資産の評価損である。地震災害による資産喪失が日本経済に与え…

■ホームページ 「IIMA の目」

短編コラム「IIMA の目」を、ホームページ最上部にて毎週初更新掲載しています。是非ご覧ください。

<http://www.iima.or.jp/research/column/index.html>

1. 「アジアの PPP 事業とソフト・インフラの整備」 中村明
2. 「米財務省・為替報告にみる『今の米国』と『将来の為替政策』」 武田紀久子

■IIMA Global Market Volatility Index・購買力平価グラフの更新

<http://www.iima.or.jp/research/ppp/index.html>

《掲載内容》

○IIMA Global Market Volatility Index

(グローバルな金融・資本市場のリスク度を表す指数)

○購買力平価グラフ

(ドル円) (ユーロドル) (ユーロ円)

■ 今月の新着レポート

1. 「トルコの金融経済情勢は安定するか? (2)

当面は慎重な判断を要するが中東における優位性は維持」 中村明

<http://www.iima.or.jp/Docs/topics/2016/288_j.pdf>

トルコは、中東地域において政治・経済の両面で際立った安定感を維持してきたが、過去2、3年の間にいずれの点に関しても不透明感が高まった。地政学リスクも上昇しており、こうした不安要因が短期間のうちに解決に向かう可能性は小さいため、当面の間は慎重な見方をせざるを得ない。

2. 「韓国経済の動向」 秋山文子

<http://www.iima.or.jp/Docs/topics/2016/287_j.pdf>

韓国経済は世界の需要減退を主因とする輸出の不調によって、成長が鈍化している。足許の動向を確認すると共に、目先の見通しおよび課題を整理した。

3. 「Banking sectors in Some Asian Countries : An Analysis from the Flow of Funds Accounts」 Ayako Yamaguchi, Tomotaka Tamura

<http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2016/NL2016No_3_e.pdf>

「アジア主要国の資金循環にみる銀行セクターの概観」の英語版

■ 今月の IIMA

6月になり、先進国はいよいよ「政治の季節」に入ります。伊勢志摩サミットを終えほったのも束の間、日本では消費増税見送りが正式発表され、7月10日投開票の参院選日程が確定しました。英国では「EU加盟継続の是非を問う」焦眉の国民投票を23日に実施。そして、異例尽くしの米大統領選も佳境に入り、「ヒラリーvs トランプ」の一騎打ちとなる可能性が濃厚です。

米国政治の碩学はもとより、当の共和党も含め専門家の誰一人として、

トランプ候補のこれほどの大躍進を予想できませんでした。本質を見誤る専門家集団の実態をサイロ（silo：気密性の高い穀物貯蔵庫）効果と呼んだ G. Tett 氏の近著を引用するまでもなく、自戒も込めて申せば、過去事例・類型事例に精通する専門家は時として視界狭窄に陥りがちです。政治の世界は「一寸先は闇」であり、金融経済情勢はそれと密接不可分。予見を持たず、インサイダーとアウトサイダーの視座をバランスさせ、真にお役に立つ情報発信を行う。IIMA の活動がそうであるよう、引き続き、研鑽に励む所存です。

「政治の季節」をことさら意識したわけではありませんが、先月の IIMA では、フランクフルトで行われた ADB 総会関連イベントへのパネリスト参加や、サミットを機に来日した海外当局との情報交流など、多数実施致しました。

【バックナンバー】

<http://www.iima.or.jp/mailmagazine.html>

【次号】

2016 年 7 月 12 日配信予定

【メールマガジンの配信停止・配信先変更】

<https://m.entryform.jp/m/iima/>

【各種お問い合わせ】

admin@iima.or.jp

※閲覧には Adobe Reader が必要です。

Adobe Reader のダウンロードはこちらから

→<http://get.adobe.com/jp/reader/>

本メールは配信専用のアドレスからお送りしております。

返信をいただいても当方では受け取ることができません。

◇発行◇

公益財団法人 国際通貨研究所

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2 三菱東京 UFJ 銀行日本橋別館 12 階

[HP] <http://www.iima.or.jp>

Copyright (C) IIMA All Rights Reserved.